

学校名 南城市立大里中学校	連絡先 TEL：098-945-2442 Eメール：oochu-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	----------------------------------------------------------------------

withコロナでの学校生活を見据えた取り組み ～できることから始めよう～

(1) 実践内容

本校は今年度8月に新校舎へ移転した。それまでは、プレハブ仮校舎での学校生活で、タブレット端末を一人一台活用できる環境が整っていなかった。新校舎への移転を機に、全生徒へのタブレット端末配布が可能となり、以下の取り組みを行った。

① 登校時における健康観察シートへの入力【写真1】

登校時に検温を行った後、毎朝の体温、家族の体調等をタブレット端末からGoogleフォームに入力、送信することにより、生徒と家族の体調の把握や毎日の健康観察データの収集が容易となった。

② Googleフォームを使った課題作成研修（校内研修）【写真2】

2学期にタブレット端末が全生徒へ配布されることを見据え、夏休み中の校内研修で、Googleフォームを使った課題作成研修を行った。緊急事態宣言発出の際の休校措置など具体的な場面を想定し、Googleフォームを使った課題の作成、Google Classroomでの課題配布、提出の仕方などをICT支援員の協力を得て、実施した。

③ タブレット端末を活用した授業

2学期に入り、タブレット端末を活用した授業改善が各教科で行われている。例えば、3年理科の授業では、「地球温暖化が進むと鳥類はどのような進化を遂げるか」について、タブレット端末で調べた内容を根拠に考え、発表する授業が行われた。【写真3】また、2年数学では、1次関数のグラフの傾きや切片が変わるとグラフがどのように変わるかを作図ソフトGeoGebraを使って考察した。1年英語では、好きな人物を英語で紹介するプレゼンテーションをタブレット端末を用いて作成、発表するなど、各教科の授業でのタブレット端末活用が進んでいる。



【写真1】健康観察シートへの入力



【写真2】Googleformsでの課題作成



【写真3】タブレットを活用した3年理科

(2) 成果・課題、改善策

① 成果

○タブレット端末を活用した授業改善が各教科に波及しつつある。生徒も操作に慣れるのが早く、互いに操作方法を教え合う様子がいろいろな場面で見られた。

② 課題

- 授業のめあて達成のためのタブレット端末の活用を吟味する教材研究時間の確保。
- 学習ツールとしての端末活用に向けた生徒の使用マナーやモラルの向上。

③ 改善策

- ◇校内研修等で、タブレット端末を活用した授業案検討などを設定する。
- ◇情報モラルやマナーについての指導を、全教科を通じてを一層の充実を図る。